

～ 子どもの頃に私が参加したまちづくり ～

- ① お宮掃除に参加：定期的に実施されている。
- ② 富田山の松林下刈り：当時は小松が主体で下刈りをして、下刈りは子どもの役割。
- ③ 木常川堤防での草刈り：小学生も軍馬飼料として乾草集めに協力した。

～ 子どもの頃に私が参加したまちづくり ～
公共的

小学2年生の時 (一宮市)

- ・ 町内の子ども七夕祭り。(自宅)
笹かざり 短冊の作成

小学3年生～6年生。(岐阜の田舎)

- ・ 登校場所の清掃
- ・ 登校集団のまとめ役

中学1年～3年生

- ・ 地域の子ども農園作り
- ・ 地藏まつり おやつ配り

～ 子どもの頃に私が参加したまちづくり ～

- 町内の運動会
- 地域の盛り上げ大会
- 地域主催のバレンタインの留学生を
迎えるカレーパーティ及び交流会
- ~~地域の清掃活動~~

～ 子どもの頃に私が参加したまちづくり ～

・ 子どもの会の行事

当時は「まちづくり」という感覚がなかったから。

・ 高校の時の奉仕活動

自分が子どもだったから参加した「まちづくり」

・ 自分も「市民のひとり」という自覚をもてる（認識をわく）もの

・ 個人として参加できるもの

・ 子ども会、学校、などを介しての活動の場を作る

自発的に考えだせばBest

・ 市長、市会議員選挙の時に情報を得られる様^{環境} ~~環境~~

～ 子どもの頃に私が参加したまちづくり ～

町内の子供会行事に
積極的に参加して私の
できる範囲で活動した
地域の人と交流が
できたと思う。

子供のころにはそんな
ことは気づかなかつた
ただ楽しくて……。

～ 子どもの頃に私が参加したまちづくり ～

- 。まちづくりに参加していたという意識は、特にありませんが、子どもの頃は、毎月、例会として、^{町内の}子ども会活動に参加していた記憶があります。今、考えると、毎月の例会は、子ども達の意見を反映しての遊びだったり、ゲームだったりして、楽しかったです。

「私が子供の頃に参加したまちづくり」

小学生

- ・ヤゴ救出作戦(小学校のプールの水を抜く前に、ヤゴを捕まえてトンボになるまで育てる)
- ・町内の廃品回収(リヤカーで町内の各家庭を回って、古新聞・古雑誌を集めて回る)
- ・交通安全パレード(鼓笛隊で演奏しながら、市内の道路を歩いて交通安全を意識してもらう)

中学生

- ・養護学校の生徒との交流(一宮東養護学校の生徒と一緒に簡単なゲームをして遊ぶ)
- ・中学校近隣に出向いて落ち葉拾い

高校生

- ・養護学校と文化祭を通じて交流(お互い展示物を展示してもらう)
- ・高校の近所の清掃活動
- ・和太鼓演奏を通じて、幅広い世代との交流(デイケアセンターや老人ホーム、保育園・幼稚園での演奏。様々な町内会で行われている盆踊りに参加。演奏先で演奏を見て頂いた方に、和太鼓と一緒に体験してもらう)

私が子どもの頃に参加したまちづくり

現在 50 歳ですが、子どもの頃、まちをよくするための活動に参加した記憶がありません。

実際は何らかの活動に参加していたのかもしれませんが、

面白くなかった

自らすすでの参加ではなかった(強制参加だった)

申し訳程度の参加、形だけの参加だった

TV や部活など、もっと印象深いことがたくさんあった
などの理由から頭に残っていないのかもしれませんが。

私がこどものころに参加したまちづくり

ボーイスカウトに所属していた私は、

- ・ 近くの神社の掃除
- ・ 交通安全の啓発
- ・ お祭りにスタッフとして参加
- ・ 街角での募金活動

などに参加しました。

当時は「まちづくり」という意識は全くありませんでしたが、思い返すとボーイスカウトの活動を通して「まちづくり」に参加していたのでは？と思いました。

子どものまちづくりへの参加

高校生までは、「まちづくり」なんて考えたこともなかった。

大学生になってようやく、世のため、人のためになることが「まちづくり」であり、「何かできるのかな、自分にも」と、漠然と思うようになってきた。が、実際に、何をどうすればよいのか、どのような「まちづくり」に、どうやって参加すればよいのかがよく分からなかった。それはたぶん、自分は、まちのことを何も知らなかったからだと思う。まちの良いところや悪いところを知った上で、まちづくりにとりかかる（まちづくりに参加する）のが自然な流れなのだろう。良いところをもっと伸ばしていこうとか、悪いところを解決しようとか。

自分の住むまちをよく知ること、それが「まちづくり」に参加する第一歩なのかもしれない。

（タイトルとかみ合っていないかな、この文章）